

# NEWS RELEASE

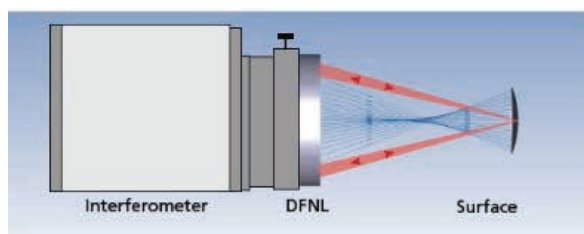
キャノンマーケティングジャパン株式会社

## 独国 DIOPTIC 社と独占販売契約を締結 回折光学素子 “Diffractive Fizeau Null Lens” の販売を開始

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)は、独国 DIOPTIC 社(DIOPTIC GmbH, President: Dr. Jean Michel Asfour)との間で、日本国内における独占販売契約を締結し、“Diffractive Fizeau Null Lens”を中心とした回折光学素子の販売を5月14日より開始します。本製品により、非球面レンズのレーザー干渉計での測定において、操作性の飛躍的向上と作業時間の短縮を実現します。



Diffractive Fizeau Null Lens



DFNL を取付けたフィゾー干渉計の測定レイアウト

昨今ミラーレスカメラをはじめとするレンズ交換式カメラ用の交換レンズは、より小型化・軽量化が求められています。そのため従来の球面レンズから、光学性能を維持しながらレンズ枚数を削減可能な非球面レンズが、より多く採用されるようになりました。

しかしレーザー干渉計での測定において、非球面レンズは球面レンズに用いられたフィゾー型干渉計と「球面原器：TS (Transmission Sphere) 原器」の組み合わせでは計測できません。そのため、触針式形状計測、又は非球面波を生成する回折格子 (CGH：計算機合成ホログラム Computer Generated Hologram) を駆使して計測されておりました。しかし、これらの計測では鏡面の表面をもつレンズに傷をつけてしまう、計測に時間がかかるなど多くの課題があり、非接触で高速に計測できる手段が望まれていました。

今回キャノンMJが販売を開始する、DIOPTIC 社の特許化された回折光学素子 “Diffractive Fizeau Null Lens” は、従来使用されていた CGH から進化した製品で、フィゾー干渉計での非球面計測においても TS 原器と同等の使い勝手を実現します。外周にアライメント用のゾーンを備えることにより、非球面レンズのアライメント操作を飛躍的に向上させ、CGH 使用時に比べ計測時間を半分以下に短縮することが可能です。

キャノンMJは、非球面計測をはじめとするフィゾー干渉計の回折光学素子において、初年度売上2,000万円、2025年度には年間売上1億円を目指します。今後も非球面計測のニーズに応え、交換レンズ市場の活性化だけでなく、今まで計測が困難であった様々な光学部品の計測にソリューションが提供できるよう、商品ラインアップを拡充し計測ソリューション事業を拡大していきます。

製品名	希望小売価格(税別)	発売日
回折光学素子 “Diffractive Fizeau Null Lens”	250万円～*	2020年5月14日

\* 装置構成や為替レートにより価格は変動します。

---

● 報道関係者のお問い合わせ先	：キャノンマーケティングジャパン株式会社 広報部 パブリックリレーションズグループ	03-6719-9093(直通)
● 一般の方のお問い合わせ先	：キャノンマーケティングジャパン株式会社 計測分析機器部 営業課	03-3740-3334

---

## < DFNL 特長 >

- CGH とフィゾー干渉計用原器一体型
  - ・ CGH 基板の透過波面精度を考慮することなく高精度な計測が可能
  - ・ フィゾー干渉計に直接取り付けて使用可能、CGH の光軸調整が非常に容易
- 最大220mm 径(凸面)・8000mm 径(凹面)まで対応可能
- 様々な波長、非球面形状に対応可能

## < 取り扱い製品 >

- 回折光学素子(3種類)
  - ・ DFNL (Diffractive Fizeau Null Lens) : フィゾー干渉計対応 非球面形状測定用ヌルレンズ
  - ・ DNL (Diffractive Null Lens) : 非球面形状測定用ヌルレンズ
  - ・ DTS (Diffractive Transmission Sphere) : 透過型球面回折光学素子

キャノン MJ では、2018年より標準でφ300mm 口径までの米国 Apre 社製フィゾー干渉計を販売しております。

DIOPTIC 社の回折光学素子は DFNL 以外に、従来の CGH と同じ使用方法で非球面量の大きな形状を計測可能な DNL、従来の TS 原器の代替としてフィゾー干渉計に対応する DTS を取り扱っており、最大口径φ300mmのフィゾー干渉計に対応します。

DIOPTIC 製品により非球面レンズ計測以外に、自由曲面、シリンダー、曲率の大きな凸レンズなど、従来計測困難であった被検物の計測を可能にし、フィゾー干渉計測の可能性をさらに広がります。

## < DIOPTIC 社の概要 >

社 名 : DIOPTIC GmbH

設 立 : 1999年

本社所在地 : Bergstr. 92A 69469 Weinheim, Germany

事業内容 : 光学設計、回折光学素子・赤外線レンズ・光学検査機器の開発・製造・販売

ホームページ : <https://www.dioptic.de/en/home/>